

第2部

資 料

平成25年度「地域の教育力によるたくましい高校生育成事業」ふるさと研修推進校事業概要一覧

No	学校名	研究テーマ	具体的活動内容
1	県立木造高等学校深浦校舎	深浦町活性化への道	深浦町の観光資源・農業・漁業・福祉を調査し、将来の産業について考える (1) 町長講話、町の将来に関する意見交換会 (2) 白神山地の観光の取組視察及び研究者講話 (3) 白神森林セラピー遊歩道の造成作業参加 (4) 町の進める先進的農業・漁業の取組視察 (5) 町のPR
2	県立弘前中央高等学校定時制の課程	ふるさとと私ー郷土を語る ～郷土の歴史、郷土の産業、郷土の未来～	(1) 郷土の歴史・産業・未来について学び、自分たちのふるさとについて理解を深める ①自己課題に関する調査 ②地域課題研究 (2) 郷土の豊かさを継承するシステムづくりに取り組む ①地域課題研究レポートの作成②多様な人・機関とのネットワークの確立③情報発信システムの確立 (3) 郷土の歴史・産業等に関する地域交流活動を通して、高校生の視点から郷土の創造に努める ①地域住民を講師とした体験活動 ②夢のある“まちづくり”研究 ③思い出の足跡づくり
3	県立黒石商業高等学校	高校生の視点で地域資源を活用したビジネスプランを地域へ提案する	(1) 地域活性化を全体テーマとした科目「課題研究」において、地域資源に対する理解を深め、高校生の視点で活性化のための様々な提案を行う (2) 「次世代の地域の担い手を地域で育てる」ことを活動の目的とし、各商工会議所がタイアップする「高校生ビジネスプランコンテスト」への参加
4	県立柏木農業高等学校	野菜ロード第2章 ～何でもないような道が幸せだったと思う～	通学道において、地域に根ざした品目を積極的に取り入れた緑化を行う (1) 食べられる緑化 ①伝統野菜「清水森ナンバ」の空中栽培 ②野菜アーチ ③ペットボトル稲 (2) 地域に根ざした緑化 ①地域にあるべき風景の指標となる苗木の設置 (3) 歩きながら勉強のできる緑化 (4) 研修等 研修会の参加や大学との連携
5	県立弘前工業高等学校	弘前の文化と産業についての調査研究し、県内外への発信及び新たな工芸デザインについての提案	(1) 工芸品の調査・見学（製作工程・工房マップ） (2) 工芸職人からの講演（素材・加工法・生活環境） (3) 工芸品体験学習 (4) 工芸デザインの提案
6	県立弘前実業高等学校	郷土の魅力を探求・発信	(1) 世界遺産白神山地の学習 白神山地のフィールドワーク等による調査を行い、PR方法について考える (2) 「白神フェスタ2013」への参加 弘前市で開催される「白神フェスタ2013」への参加を通して、地域の職業人と連携・協力しながら、高校生ならではの視点で白神山地の魅力をもPRする企画の立案及びイベントブースの運営

7	県立三沢商業高等学校	実体験教育プラン	<ul style="list-style-type: none"> (1) グループテーマ(農業・漁業・商工会・観光協会・市役所・地域貢献・報道)を設定し、活性化プランの立案、地域紹介、調査研究、販売体験、商品開発を行う (2) グループ発表会の実施、報告会の実施 (3) 外部講師によるプレゼンテーション指導 (4) 三沢市役所を始めとする関係4団体の実体験推進委員会を設けて連携を図る
8	県立青森第一高等養護学校	地元について知ろう	<ul style="list-style-type: none"> (1) 油川の歴史を学ぶ (2) 地元産業の見学 (3) 郷土芸能を学ぶ 油川に古くから伝わる「油川音頭」について学ぶ ねぶた囃子の体験やねぶた運行に参加する (4) 清掃活動 地元の人たちと協力し、海岸の清掃を行う
9	県立青森第二高等養護学校	地域の教育力を生かして、社会的職業的に自立するために必要な心構え、知識、技能とは何かを探る	<ul style="list-style-type: none"> (1) 外部講師の活用 喫茶サービス実技研修、清掃実技体験 (2) 地場産業・公共施設の見学 津軽塗工房、こぎん刺し、陶芸工房、林業試験場、クリーニング工場、福祉施設、役場等の見学 (3) 授業での実践 (4) 地域での職場体験
10	県立黒石養護学校	日頃の学習活動の成果をもとに、地域資源を活用した授業を展開することを通して、卒業後に社会の一員として自立してたくましく生きていく力を育む	<ul style="list-style-type: none"> (1) 地域の職業人や企業を訪ねての取材・ミニ就業体験 (2) 地域の職業人を講師に招いての体験授業 (3) 地域の老人クラブとの交流活動 (4) 地域産業の調べ学習と体験活動 (5) ALTとの学習と地域高校生徒の交流活動 (6) いろいろな職業の調べ学習と就業体験
11	県立盲学校	あん摩・マッサージ・指圧が及ぼす肩こり感と筋硬度の関連性について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 農作業等第一次産業従事者とのあん摩・マッサージを通じた交流 (2) 肩こり感や筋硬度の関連性についての研究

平成26年度「地域の教育力によるたくましい高校生育成事業」ふるさと研修推進校事業概要一覧

No	学校名	研究テーマ	具体的活動内容
1	県立木造高等学校深浦校舎	深浦町活性化への道	<p>深浦町の観光資源・農業・漁業・福祉を調査し、将来の産業について考える</p> <p>(1) 白神体験学習：環境保全に関する講話と体験作業</p> <p>(2) 「ふるさと研修」：講話、ワークショップ、ガラス工房体験学習</p> <p>(3) 西海岸物語Ⅱ編集：観光プロモーションビデオ作成</p> <p>(4) 町との連携事業：森林セラピー遊歩道整備、チャンチャン祭参加、行合崎清掃</p>
2	県立弘前中央高等学校定時制の課程	ふるさとと私ー郷土を語る ～郷土の歴史、郷土の産業、郷土の未来～	<p>(1) 郷土の歴史・産業・未来について学び、自分たちのふるさとについて理解を深める</p> <p>①自己課題に関する調査 ②地域課題研究</p> <p>(2) 郷土の豊かさを継承するシステムづくりに取り組む</p> <p>①地域課題研究レポートの作成②多様な人・機関とのネットワークの確立③情報発信システムの確立</p> <p>(3) 郷土の歴史・産業等に関する地域交流活動を通して、高校生の視点から郷土の創造に努める</p> <p>①地域住民を講師とした体験活動 ②夢のある“まちづくり”研究 ③思い出の足跡づくり</p>
3	県立黒石商業高等学校	高校生の視点で地域資源を活用したビジネスプランを地域へ提案する	<p>(1) 地域活性化を全体テーマとした科目「課題研究」において、地域資源に対する理解を深め、高校生の視点で活性化のための様々な提案を行う</p> <p>(2) 「次世代の地域の担い手を地域で育てる」ことを活動の目的とし、各商工会議所がタイアップする「高校生ビジネスプランコンテスト」への参加</p>
4	県立柏木農業高等学校	野菜ロード第3章 ～何でもないような道が幸せだったと思う～	<p>通学道において、地域に根ざした品目を積極的に取り入れた緑化を行う</p> <p>(1) 野菜トンネル</p> <p>(2) 空中栽培</p> <p>(3) 栽培・生育の近況をダイレクトメール・学校ホームページでの情報発信</p> <p>(4) 研修等 試験場での見学</p>
5	県立弘前工業高等学校	弘前の文化と産業について調査研究し、県内外への発信及び新たな工芸デザインについての提案	<p>(1) 工芸品の調査・見学（製作工程・工房マップ）</p> <p>(2) 工芸職人からの講演（素材・加工法・生活環境）</p> <p>(3) 工芸品体験学習</p> <p>(4) 工芸デザインの提案</p>
6	県立弘前実業高等学校	「復興支援と地域活性化」探究プロジェクト	<p>(1) 「Cross C」への参画</p> <p>弘前市でカルチャーロードの日に開催されるイベント「Cross C」について、弘前青年会議所と協働しながら運営に参画する</p> <p>地域の職業人と連携・協力しながら、商品開発、情報発信、店舗設営、販売実習等を行う</p>

7	県立三沢商業高等学校	実体験教育プラン	<ul style="list-style-type: none"> (1) グループテーマ(農業・漁業・商工会・観光協会・市役所・地域貢献・報道)を設定し、活性化プランの立案、地域紹介、調査研究、販売体験、商品開発を行う (2) グループ発表会の実施、報告会の実施 (3) 外部講師によるプレゼンテーション指導 (4) 三沢市役所を始めとする関係4団体の実体験推進委員会を設けて連携を図る
8	県立青森第一高等養護学校	地元について知ろう	<ul style="list-style-type: none"> (1) 油川の伝統文化(流し踊りや祭り)を学ぶ学習活動、スポーツ交流 (2) 地域の歴史や地理についての学習、学校周辺の歴史マップの作成 (3) 地元産業の見学 (4) 地元産の食材や料理法の研究 (5) 地元の植物や生物に関する学習、自然観察 (6) 地元赤十字奉仕団との交流(もちつき会)
9	県立青森第二高等養護学校	地域で働く人とのかわりを通して、将来、社会人として自分たちができる役割や社会的自立・職業的自立に必要なことを考える	<ul style="list-style-type: none"> (1) 外部講師の活用 清掃実技研修 (2) 地場産業・公共施設の見学 津軽塗工房、陶芸工房、林業試験場、クリーニング工場、役場等の見学 (3) 授業での実践 (4) 地域での職場体験
10	県立黒石養護学校	日頃の学習活動の成果をもとに、地域資源を活用した授業を展開することを通して、卒業後に社会の一員として自立してたくましく生きていく力を育む	<ul style="list-style-type: none"> (1) 地域で就労している先輩や企業を訪ねての取材・ミニ就業体験 (2) 地域の職業人を講師に招いての体験授業 (3) 地域の老人クラブとの交流活動 (4) ALTとの学習と地域高校生との交流活動 (5) いろいろな職業の調べ学習と就業体験 (6) 地域の方達への喫茶サービス体験
11	県立盲学校	あん摩施術に必要なコミュニケーション能力を高めるために地域交流から学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> (1) 第一線で活躍する理学療法士を招いての講演会の実施 (2) 地域の方との交流 (2) コミュニケーションについて、地域の方に対するアンケート実施と自己評価

高校生のキャリアづくり応援マガジン「YELL」について

1 趣 旨

高校生自らが社会人を取材し、その内容をまとめた冊子を作成、配付することで、高校生が自分の将来の職業について考えるきっかけづくりとし、職業人として自立していける力を身につけたたくましい人財として育つことを目的とする。

2 事業内容

(1) 取材に関する事前説明会

県担当者と冊子編集業者が、各実施校で取材について説明会を実施する。取材を行う高校生、担当教員を対象とし、取材のポイント、マナーなどについて説明する。

(2) 高校生による県内社会人の取材（1校あたり2～3件）

県担当者と冊子編集業者の立ち会いのもと、高校生1組3名程度のグループが社会人への取材を行う。取材先は実施校の希望をもとに決定する。

(3) 冊子の作成・配付（県・冊子編集業者が実施）

高校生が作成した原稿をもとに、インタビューした社会人の記事をまとめ、冊子を作成し、新高校1年生に配付する。

(4) 校内発表会の開催

3 取材実施校

<平成25年度（9校）>

木造高等学校深浦校舎、柏木農業高等学校、弘前工業高等学校、弘前実業高等学校、黒石商業高等学校、三沢商業高等学校、田名部高等学校、八戸東高等学校、弘前中央高等学校（定時制の課程）

<平成26年度（11校）>

木造高等学校深浦校舎、十和田西高等学校、六ヶ所高等学校、大湊高等学校川内校舎、五戸高等学校、青森商業高等学校、黒石商業高等学校、三沢商業高等学校、弘前中央高等学校（定時制の課程）、青森明の星高等学校、八戸学院光星高等学校

4 取材に参加した高校生の感想

- ・ 仕事をする上で一番大切なことは人と人とのコミュニケーションだということが分かりました。家族や友人との何気ない会話も将来につながるかもしれないので大切にしたいと思いました。
- ・ 私は将来やりたいことや興味のあることが、まだはっきりしていません。今回、助産師という仕事がどういったものなのか知って、職業選択の幅が一つ増えました。このような機会を与えてくださった方々に感謝します。ありがとうございました。
- ・ 広告代理店は、自分が将来、就きたいと考えている職業だったので、とても貴重な体験でした。この経験を、必ず自分の将来に役立てられるように、日々の生活を送っていきたいです。



平成25年度「地域の教育力によるたくましい高校生育成事業」 キックオフ研修開催要項

1 趣 旨 地域の教育力によるたくましい高校生育成事業に参加する11推進校が一堂に会し、これからの活動の意義や目的について研修する。

2 主 催 青森県教育委員会（主管：生涯学習課）

3 日 時 平成25年6月13日（木） 11：00～15：30

4 会 場 青森県総合社会教育センター 大研修室

5 対 象 推進校11校の生徒及び教職員

6 日 程	10:30	11:00	11:20	12:00	13:00	14:10	14:20	15:30
	受付	開会 行事	事業 説明	休 憩	講演	休 憩	トーク& ライブ	閉 会

7 内 容

（1）開会行事

- ・主催者挨拶
- ・推進校紹介

（2）事業説明

- ・参加生徒に対して
 - 事業趣旨及び事業のながれ等についての説明 （生涯学習課）
 - 各推進校による研究テーマの紹介 （各校代表）
- ・担当教員に対して
 - 事業趣旨及び事業のながれ等についての説明 （学校教育課）
 - 高校生のキャリアづくり応援マガジンについての説明（地域活力振興課）

（3）講 演

「壁があったら、穴を開ける！まちおこしゲリラからのメッセージ」
青森県教育委員会教育委員
まちおこしゲリラ集団「あおぞら組」
代 表 島 康 子 氏

（4）トーク&ライブ

「先輩はミュージシャン 坂本サトル Talk & Live」
ミュージシャン 坂本サトル 氏

8 その他

生徒の移動にかかわるバス等については、生涯学習課で用意する。

平成26年度「地域の教育力によるたくましい高校生育成事業」 中間報告会開催要項

1 趣 旨 「ふるさと研修」の意義や目的を理解し、共通認識を持つため、地域の教育力によるたくましい高校生育成事業に参加する11推進校の担当者等が一堂に会し、各校の取組状況の情報交換と今後の活動に向けて研修する。

2 主 催 青森県教育委員会（主管：生涯学習課）

3 日 時 平成26年6月11日(水) 13:30～16:30

4 会 場 青森県総合社会教育センター 第1研修室

5 対 象 推進校11校の教職員及び県立学校教職員

6 日 程	13:00	13:30	13:40	14:50	15:00	15:50	16:00	16:30
	受付	開会	報告Ⅰ	休憩	報告Ⅱ	休憩	事業説明	閉会

7 内 容

(1) 開会

(2) 報告Ⅰ

・推進校担当者による報告（10分程度）

- | | | |
|------------------|---|-----|
| ①平成25年度の主な取組について | } | ※7分 |
| ②成果と課題 | | |
| ③質疑応答 | | |

※添付したスライドまたは自作の資料等を用いて報告してもよい。

〔木造高等学校深浦校舎、黒石商業高等学校、柏木農業高等学校、
弘前工業高等学校、青森第一高等養護学校、青森第二高等養護学校〕

(3) 報告Ⅱ

・推進校担当者による報告（10分程度）

※内容は、報告Ⅰと同様とする。

〔弘前中央高等学校（定時制）、弘前実業高等学校、三沢商業高等学校、
黒石養護学校、盲学校〕

(4) 事業説明

- ・事業概要及び事業のながれ等についての説明 （学校教育課）
- ・事業概要及び事業のながれ等についての説明 （生涯学習課）
- ・高校生のキャリアづくり応援マガジンについての説明 （地域活力振興課）

(5) 閉会

8 その他

教職員の旅費については、各校で対応する。

平成26年度「地域の教育力によるたくましい高校生育成事業」 事業報告会開催要項

1 趣 旨 地域の教育力によるたくましい高校生育成事業に参加した11推進校等の生徒及び教職員等が一堂に会し、2年間の各校の取組についての報告と研究成果に基づいた提言及び今後に向けて研修する。

2 主 催 青森県教育委員会（主管：生涯学習課）

3 日 時 平成27年2月5日（木） 10：00～15：30

4 会 場 青森県総合学校教育センター 大研修室

5 対 象 推進校11校の生徒及び教職員、県立学校教職員等

6 日 程	9:30	10:00	10:10	12:00	13:00	14:00	14:15	15:30
	受付	開会	報告会 I	休憩	報告会 II	休憩	トーク & ライブ	閉会

7 内 容

（1）開会

・主催者挨拶

（2）報告会 I

・推進校生徒による報告（10分程度）

①2年間の取組内容について

②成果と課題

③その他

※自作の資料等を用いて報告してもよい。

〔弘前工業高等学校、柏木農業高等学校、青森第一高等養護学校、弘前中央高等学校（定時制）、木造高等学校深浦校舎、青森第二高等養護学校、弘前実業高等学校〕

（3）報告会 II

・推進校生徒による報告（10分程度）

※内容は、報告会 I と同様とする。

〔黒石商業高等学校、黒石養護学校、三沢商業高等学校、盲学校〕

（4）トーク & ライブ

「先輩はミュージシャン 坂本サトル Talk & Live vol.2」

ミュージシャン 坂本 サトル 氏

8 その他

推進校の生徒移動にかかわるバス等については、生涯学習課で用意する。

この実施報告書は青森県庁のホームページからダウンロードできます。

<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/takumashiikoukousei-houkokusyo.html>

地域の教育力によるたくましい高校生育成事業 事業報告書

発行年月 平成27年 3 月
発 行 青森県教育庁生涯学習課
〒030-8540 青森市新町二丁目 3 番 1 号
Tel 017-734-9890 Fax 017-734-8272
